

奄美海上保安部便り 第69号

- ・第69号は2023年8月から12月までの活動状況などを掲載しております。
- ・奄美海上保安部ホームページはこちら <https://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/amami/>



奄美群島日本復帰70周年記念式典

11月11日、奄美市の奄美振興会館で「奄美群島日本復帰70周年記念式典」が開催され、第十管区海上保安本部長、奄美海上保安部長、古仁屋海上保安署長が参列いたしました。また、巡視船「あまぎ」と「かいもん」が満船飾と電光掲示盤で祝意を表しました。



奄美振興会館



「あまぎ」満船飾



「かいもん」電光掲示盤

笠利埼灯台を一般公開

奄美群島日本復帰70周年にあたり、70年間の海上保安業務へのご理解とご協力に感謝を込めて、11月5日、奄美大島最北端の海のみちしるべ笠利埼灯台を一般公開しました。奄美大島内外から、311名もの人々が訪れ、普段は登れない灯台の最頂部から、奄美大島の美しい青い空や海と緑の大地の絶景を楽しみました。また、海上保安官の制服を試着し記念撮影なども行いました。



奄美市名瀬戦没者合同慰霊祭

8月15日、奄美市市民交流センターで、奄美市名瀬戦没者合同慰霊祭が執り行われ、奄美海上保安部長が参列、先の大戦において亡くなられた戦没者に哀悼の誠を捧げ、恒久平和への誓いを新たにしました。



のろのろ台風6号が南西諸島で迷走・停滞

7月末から8月上旬にかけて、台風6号が先島諸島や沖縄諸島と奄美群島などにかけて迷走・停滞、奄美群島の各港では台風の強風や高波の影響で11日間(名瀬港)以上に亘り定期フェリーや貨物船などが欠航、本土からの生活必需物資などの供給が停止、生鮮食料品などが不足し島民の生活はひっ迫しました。巡視船「あまぎ」などは大島海峡で災害に備えました。



夏の多客期のフェリーターミナル警戒

7月28日と8月11日、巡視船「あまぎ」と「かいもん」の乗組員らが、夏の多客期で帰省客や観光客で混雑する名瀬港フェリーターミナルの警戒と下船者へ水難事故の防止を呼びかけました。



徳之島地区沿岸防犯警備協力会総会

8月23日、徳之島町の徳之島警察署で、徳之島地区沿岸防犯警備協力会総会が4年振りに対面開催されました。会長の森田天城町長は「徳之島のユネスコ世界自然遺産登録やコロナの規制緩和で、今後、来島者が増加し治安悪化の恐れもある、徳之島の安全と島民の平穏な生活を守るため危機管理意識を持って各機関が協力してほしい。」と述べられました。また、協力会顧問の奄美海上保安部長が海上保安業務について講話を行いました。



与論空港沖でLPGタンカーが座礁

10月20日、10時15分頃、LPGタンカー(日本船籍、749総トン、積荷LPG600トン)から第十一管区海上保安本部へ「与論港を出港して沖縄向け航行中の9時10分にリーフに乗揚げた。」と通報がありました。



第七管区海上保安部北九州航空基地のジェット機(MAJ577)、奄美海上保安部巡視船「あまぎ」(古仁屋海上保安署巡視艇「いそなみ」潜水士乗船)が調査と警戒などにあたりました。

20日、21時22分、サルベージ会社が手配したタグボートで曳き出し離礁、負傷者や燃料と積荷の流失はありませんでした。

小学生の夏休み自由研究応援企画、笠利埼灯台特別ツアー

8月20日(日)、小学生の夏休み自由研究応援企画特別ツアーと題し笠利埼灯台を公開、小学生と保護者が参加しました。

熱中症防止のため午前9時から始めたツアーに小学生27名とその保護者17名が参加、灯台の始まりと役割や仕組み及び灯台機械の見学や海上保安庁の業務などを学び、普段は登れない涼風吹く灯台の上から奄美大島の美しい青い海と空と緑の大地の絶景を楽しみました。更に、第十管区海上保安本部鹿児島島航空基地の航空機がパトロール中にサプライズ飛来、子供らの大歓声があがりました。ツアーは11時に終了、公開に一般の方を含めて64名が参加、新聞2社が取材、後日広く報道されました。



熱中症防止のために日陰で説明



一列に並んで灯台を目指します



灯台の機械の中も確認



灯台の上から絶景を楽しみました



航空機のサプライズ飛来に大歓声



ありがとうございました～!

✚ 沖永良部島で小学生のラジオ工作教室を開催

奄美群島は、今年で日本復帰 70 周年を迎えます。沖永良部の皆様のこれまでの海上保安業務へのご理解とご協力に感謝を込めて、10 月 29 日、和泊町中央公民館でラジオ工作教室を開催、沖永良部の小学生 20 名と保護者らが参加しました。

工作開始、子供達がラジオキットの包みを開くと、「ホントに作れるかな？」不安の声が聞えました。アンテナのコイル巻きや半田ごてを使って部品の取付けを始めると、雰囲気は一変、真剣な気に包まれました。

完成してラジオから音が聞こえると、満面の笑み、イヤホンに耳をあて、地元の放送を夢中で聞き入りました。奄美海上保安部は、地域の皆様との絆を大切に、安全安心に努めます。



✚ 沖永良部島の国頭岬灯台を初公開

沖永良部島の最北端の海のみちしるべ国頭岬灯台は設置から 50 周年、沖永良部の皆様のこれまでの海上保安業務へのご理解とご協力に感謝を込めて、10 月 30 日、初公開。和泊町立国頭小学校の児童 24 名と和泊中学校の生徒 44 名及び教諭並びに和泊町の前(すすめ)町長や町職員など約 90 名が見学しました。

児童、生徒は、海上保安業務や灯台など航路標識の役割やしぐみなど学習、普段は登れない灯台の上から沖永良部ブルーの美しい空と海や緑の大地の絶景に大歓声をあげました。

前町長は、奄美海上保安部長が委嘱する国頭岬灯台の灯火監視協力者、20 年間も灯台の灯りを見守り続け、台風の通過後には灯台の施設が壊れていないか、灯台まで足を運んで確認もいただきます。さらに、町長のお父様も 20 年間、灯火監視協力者を務められ、親子で 40 年もの間、ご協力いただいています。町長は、参加した小学校の児童に、「君達は、沖永良部島の宝、この灯台の灯りのように、いつまでも輝き続けて、沖永良部のために役立ってください。」と述べられました。公開にあたり、和泊町教育委員会のご協力及び(公財)海上保安協会と(公社)燈光会のご支援に深く感謝いたします。



海上保安庁の測量船を海上保安協会奄美支部役員などが見学

11月18日(土)の一般公開は、悪天候のため残念ながら中止となりましたが、前日の17日(金)、名瀬港の観光船岸壁で、海上保安協会奄美支部役員及び海上保安友の会会員など18名が測量船「光洋」を見学しました。船橋や搭載機器等を見学、昼食には「光洋のシェフ特製カレー」を試食、海上保安庁の測量船及び海洋調査業務などについてご理解頂きました。



業務概要説明



船橋見学



搭載機器説明



シェフ特製カレーを試食



島の小学生が社会科見学

11月22日、奄美大島の大川小学校と小湊小学校の児童12名と教諭3名が奄美海上保安部と巡視艇「いそなみ」を社会科見学、海上保安業務について学習や潜水土業務などを体験しました。



記念撮影



吊上げ体験



潜水服試着



船橋見学

土木フェスタ in あまみ 2023

11月26日、名瀬港観光船岸壁で、奄美海上保安部は「土木フェスタ in あまみ 2023」に参加、海上保安官の制服試着とVR(バーチャルリアリティ)ゴーグルの体験コーナーを開催、子供らが海上保安官の制服を試着して記念撮影、VRゴーグルを装着してヘリコプターから海上へ降下する動画や巡視船が流氷を割って進む動画などを体験、その迫りに歓声や悲鳴が響きました。



海上保安官の制服試着

奄美群島排出油等防除協議会

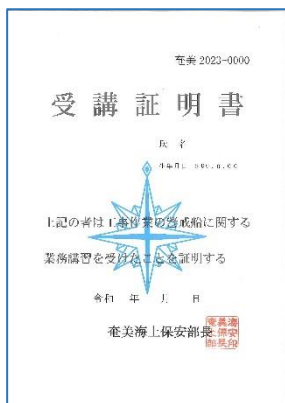
11月28日、徳之島の天城町防災センターで奄美群島排出油防除協議会徳之島支部の総会が開催され、支部会員ら21名が出席しました。

併せて講習会を開催、排出油事故発生の際の各会員の初動対応手順などを確認するとともに、奄美海上保安部の海上保安官が「奄美群島の海上災害の現状と対応」などについて講話を行いました。



工事作業等の警戒船講習会

11月29日、奄美文化センターで海上での工事作業等の安全のための、警戒船講習会を開催、警戒船の業務講習と管理講習を延べ28名が受講、それぞれに講習の受講証明書を交付いたしました。



「ダメ・ゼッタイ」龍北中学校で薬物乱用防止教室

12月12日、龍郷町立龍北中学校で奄美海上保安部の海上保安官が「薬物乱用防止教室」を開催、生徒9名と教諭6名が参加しました。薬物依存の恐ろしさと誘われたときの断り方などを学んだ生徒たちは、薬物に手を出さない「ダメ・ゼッタイ」を約束しました。

また、海上保安庁の仕事や海上保安大学校と海上保安学校の学生採用についても紹介、「豊かで美しい奄美大島の海を守る海上保安官を奄美大島から」と呼びかけました。



海の日の海事功労者の表彰

7月17日の海の日にあたり、海事関係への永年に亘る功績のあった方々が表彰されました。

- ◇ 鹿児島県水難救済会伊仙救難所所長の大久保明(伊仙町長)さまは、長年に亘る海難救助などへの功績で、海上保安庁長官表彰を受賞され、8月23日、伊仙町役場で、奄美海上保安部長が表彰状を伝達いたしました。
- ◇ 海上保安協会奄美支部副支部長の喜禎康祐さまは、長年に亘る海上保安協会業務への功績で、第十管区海上保安本部長表彰を受賞され、9月4日、喜界町役場で赤松第十管区海上保安部次長が、金江喜界町副町長と奄美海上保安部長の立会いのもと感謝状を伝達いたしました。
- ◇ 海上保安協会奄美支部副支部長の満林春男(名瀬漁業協同組合長)さまと海上保安協会奄美支部幹事の竹田泰典(龍郷町長)さまは、長年に亘る海上保安協会業務への功績で、奄美海上保安部長表彰を受賞されました。
- ◇ 海上保安協会奄美支部幹事の今井力夫(知名町長)さまは、長年に亘る海上保安協会業務への功績で、奄美海上保安部長表彰を受賞され、8月13日、沖永良部島の伊延港の巡視船「あまぎ」船上で奄美海上保安部長が感謝状を謹呈いたしました。



大久保明さま



喜禎康祐さま



今井力夫さま

11月1日の灯台記念日の表彰

- ◇ 離島の灯台の灯火監視協力者を表彰、11月12日に古仁屋港防波堤灯台の監視協力の功績で瀬戸内漁業協同組合長の茂野拓真さまへ坂巻第十管区海上保安本部長が感謝状を謹呈いたしました。



茂野拓真さま

- ◇ 奄美海上保安部長が離島の灯台などの灯火監視協力者を表彰しました。11月2日には赤木名港導灯の監視協力の功績で名瀬市笠利町の寶納英久さまに感謝状を伝達、11月6日には亀徳港南防波堤灯台などの監視協力の功績で徳之島町の三上裕一郎さまに感謝状を伝達いたしました。

奄美海上保安部が管理する灯台など38の航路標識は6有人離島に点在、適切な管理には監視協力者の存在が重要です。



寶納英久さま



三上裕一郎さま 幸野徳之島副町長

巡視船「あまぎ」

◇ 8月3日、鹿児島県危機管理局の要請で巡視船「あまぎ」が台風6号の強風と高波のなかで急患搬送を行いました。12時50分、台風災害に備えて配備中の大島海峡を発動、17時6分、喜界島の湾港で患者を消防救急隊から引継ぎ、19時46分、奄美大島の名瀬港で消防救急隊へ引継ぎました。



喜界島の湾港で患者を巡視船「あまぎ」へ収容

◇ 長期間に亘り迷走・停滞したのろのろ台風6号が去った後の8月13日、沖永良部島の伊延港で巡視船「あまぎ」を一般公開しました。当初は9時から12時までの3時間の公開予定でしたが、台風の影響で不足した生活必需物資を補給するフェリー臨時便の着岸に、9時から10時までの1時間限りの公開となりました。短い時間でしたが、住民の皆様など241名が船内外を見学、操舵室では子供達の笑顔と歓声であふれました。



伊延港に着岸した巡視船「あまぎ」



子供達で溢れた操舵室

沖永良部の美しい海を守る未来の海上保安官を沖永良部から



知名町長・和泊町長



巡視船「あまぎ」の出港を見送る多くの住民

◇ 10月11日、10時10分頃、名瀬港の観光船岸壁の北側で、釣り中の奄美市の男性(80歳)が海中に転落しました。通報を受けた、巡視船「あまぎ」の乗組員が救助しました。男性に目立ったケガはありませんでした。

◇ 10月19日、徳之島の平土野港で、樟南第二高校の生徒79名と教諭が巡視船「あまぎ」を見学、「あまぎ」乗組員が、巡視船の航海計器、海上保安業務及び海上保安大学校と海上保安学校の学生採用などについて説明しました。

更に、徳之島出身の政木海上保安官が熊本海上保安部からWeb経由で、直接、故郷の生徒らに「徳之島の美しい海を守る海上保安官を徳之島の高校生から」と熱く語りかけました。



巡視船「かいもん」

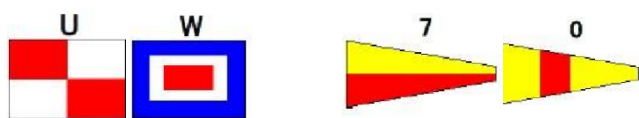
◇ 8月23日、4時42分、奄美大島の名瀬港の北西約50kmの海上の小型船(5.1ト、2名乗り組み)から、第十管区海上保安本部へ「燃料切れでエンジンが停止し航行できなくなった。」と救助要請がありました。6時15分、巡視船「かいもん」が発動、7時45分、「かいもん」が現場で小型船と会合、8時19分、「かいもん」が小型船を曳航開始、12時12分、奄美大島の名瀬港内で名瀬漁協所属漁船「喜洋丸」に曳航を引継ぎ、12時41分、小型船は名瀬漁協前岸壁に着岸、救助完了しました。小型船は佐賀県の唐津市から沖縄県に向かう途中でした。



◇ 11月19日、奄美市防災訓練が実施され、奄美海上保安部及び巡視船「かいもん」が参加しました。「奄美大島北部沖を震源とする地震が発生、大津波警報が発令」の想定下、「かいもん」は緊急離岸、安全海域への進出にあわせて、電光掲示盤で住民へ津波から避難を呼びかけました。



◇ 11月26日、巡視船「かいもん」が「土木フェスタ in あまみ 2023」会場の前面海上で展示航走を行いました。国際信号旗の「U・W」（ご安航を祈る）「7・0」（奄美群島日本復帰70周年）を掲げた展示航走に多くの子供らが声援してくれました。



古仁屋海上保安署・巡視艇「いそなみ」

◇ 8月17日、海上保安官を目指す高校生と保護者及び弟が古仁屋海上保安署を見学しました。古仁屋海上保安署の職員による海上保安庁の業務説明を聴講、巡視艇「いそなみ」の船内や潜水士の訓練も見学しました。案内にあたった職員は、「ぜひ、奄美大島の美しい海を守る海上保安官になって欲しい。」と願いました。



※ 見学や説明を希望される方は「**見学と説明希望**」と下記まで、**出前講座**も行います。

☞ 奄美海上保安部管理課 **0997-52-5811** ☞ 古仁屋海上保安署 **0997-72-2999**

◇ 8月17日、古仁屋海上保安署の海上保安官らが、夏の多客期で帰省客や観光客で混雑する古仁屋港フェリーターミナルやフェリー「あまみ」の船内(古仁屋 ⇄ 徳之島)の警戒と乗客へ水難事故の防止を呼びかけました。



◇ 8月21日、瀬戸内消防分署庁舎と古仁屋漁港瀬久井で、巡視艇「いそなみ」の潜水士と瀬戸内消防分署の消防士が、合同救助訓練を行いました。

瀬戸内消防分署庁舎では、潜水士が海上保安庁の水難救助法や能力について消防士に説明、古仁屋漁港瀬久井では、消防救急艇「おおとり」を使用して合同救助訓練を行い、相互の救助能力の向上と連携の強化を図りました。古仁屋海上保安署と瀬戸内消防分署は「水難事故における救助に関する覚書」にもとづき、水難事故での迅速で確実な救助と水難事故の未然防止のための連携と協力に努めます。

潜水士が海上保安庁の救助法を説明



潜水士と消防士の合同救助訓練

◇ 9月19日、古仁屋海上保安署の海上保安官、巡視艇「いそなみ」の潜水士と瀬戸内消防分署の消防士が、古仁屋漁港瀬久井で、海上保安署の監視取締艇「ぱるさあ」と消防分署の救急艇「おおとり」を使用した救助者の洋上引渡し訓練などを行い、相互の救助能力向上と連携の強化を図りました。



救助者の洋上引渡し訓練

◇ 10月2日、鹿児島湾で、古仁屋海上保安署の巡視艇「いそなみ」と潜水士及び鹿児島航空基地のヘリコプターが合同で、ヘリコプターから潜水士を巡視艇へ降下させ、巡視艇から潜水士と要救助者を吊上げる訓練を行いました。



◇ 10月27日、瀬戸内町立古仁屋小学校の2年生児童43名と教諭2名が校外学習で古仁屋海上保安署を訪問、巡視艇「いそなみ」などを見学、潜水士の吊上げも体験しました。



◇ 11月23日、巡視艇「いそなみ」の潜水士が、瀬戸内消防分署の訓練施設を使用して吊上げ救助訓練などを行いました。これからも、古仁屋海上保安署と瀬戸内消防分署は協力して島民の安全安心に努めます。



大山崎灯台の灯火監視協力者へ委嘱状を交付

10月24日、大和村の大山崎灯台の灯火監視協力者*に大和村にお住まいの元野さまを委嘱、奄美海上保安部長が委嘱状を交付いたしました。奄美海上保安部の灯台などの38の航路標識は有人離島6島に点在、これらを適切に管理するためには、灯火監視協力者の存在が特に重要です。新聞1社が取材、翌日、広く報道されました。

※ 灯火監視協力者：奄美海上保安部長が委嘱する、灯台などの航路標識の状況を確認し、異常が発生した場合に海上保安部へ通報するボランティア、奄美群島では27名と3団体が委嘱されています。



海上保安協力員との連絡会議を開催

10月25日、奄美海上保安部で海上保安協力員*との連絡会議を開催、奄美群島内の海上保安協力員7名と奄美海上保安部の海上保安官が参加、奄美群島内の海上犯罪の現状や海洋環境の保全等について、情報交換などを行いました。

※ 海上保安協力員：海上保安協会奄美支部長(奄美市長)が指名する、海上での犯罪や事故の防止及び海洋環境の保全のためのボランティア、奄美海上保安部管内(古仁屋海上保安署を除く)で11名が指名されています。



ホテルなどへ観光客の溺水事故防止啓発の協力を依頼

8月27日、奄美市笠利町崎原ビーチで島外からの観光客の溺水事故が発生しました。

28日、事故再発防止のため奄美海上保安部の海上保安官が、笠利町周辺の宿泊施設などに、宿泊者の溺水事故防止のための呼びかけへの協力を依頼しました。



✚ 空港利用者に水難事故防止呼びかけ

この夏、島外からの観光客の水難事故が頻発していることから、8月29日、奄美空港で、日本航空の職員と奄美海上保安部の海上保安官らが、観光客などに水難事故防止を呼びかけました。加えて、8月1日から9月30日まで、奄美群島内各空港発着の航空各社（JAL、JAC、JAIR、SKY、PEACH）のご協力で、奄美群島全空港到着時の機内アナウンスで、「水難事故の防止の呼びかけ」を行っていただきました。



奄美空港

✚ 雪国の子供たちが奄美の海にやってきた！

9月22日、海の無い群馬県みなかみ町と雪の降らない奄美市の交流事業で、みなかみ町の子供たち30名と関係者が、温暖で美しい奄美の海を楽しみました。海に入る前に、奄美海上保安部の海上保安官3名と海上安全指導員*4名による海上安全教室に参加、「ライフジャケットの着用」「一人で海に行かない」「海の緊急電話番号118番」などを学びました。



※ 海上安全指導員：第十管区海上保安本部長が指定する、マリンレジャーなどの事故防止啓発活動等を行うボランティア、現在、奄美群島では8名が指定されています。

名瀬港安全対策協議会で大型クルーズ船寄港の安全対策を決定

10月10日、鹿児島県大島支庁で、名瀬港長（奄美海上保安部長）が名瀬港安全対策協議会を開催、名瀬港の関係者22名が参加しました。協議会では、10月下旬に予定されている、これまで最大の大型クルーズ船(93,502ト)の名瀬港寄港に際しての安全対策を検討・決定し、関係者の相互協力を確認しました。



これまで最大の国際クルーズ船が名瀬港に寄港

10月26日、奄美大島の名瀬港に、これまで最大の国際クルーズ船が寄港しました。寄港したのは、ノルウェー ジャン ジュエル(バハマ船籍、93,502ト)で、11時に前寄港地の長崎県の佐世保から名瀬港観光船岸壁に着岸、乗客約2,300人が奄美大島の美しい自然や文化を楽しみ、19時過ぎには次の寄港地の那覇に向けて出港しました。

ユネスコ世界自然遺産の奄美大島では、今後、島外からの観光客の増加が見込まれます。奄美海上保安部は、住民と来島者が安心して安全に奄美群島の豊かで美しい自然を楽しめるように、海の事故防止に努めます。



ノルウェージャンジュエル 巡視船「かいもん」

奄美群島スクーバダイビング安全対策協議会

12月8日、奄美群島スクーバダイビング安全対策協議会で奄美海上保安部と古仁屋海上保安署の海上保安官が、会員ら32名に事故防止等と呼びかけました。更に、日本高気圧・潜水医学会評議員の山見博士による「潜水障害の予防と初期対応」についての講話が行われ、会員の潜水病等への基礎医学知識の向上と安全意識の高揚が図られました。



山見博士の講話

名瀬小型船組合で安全の呼びかけ

12月9日、名瀬小型船組合の総会で、奄美海上保安部の海上保安官が組合員23名に小型船の事故発生状況について講話、安全運航と呼びかけました。



🚩 ホエールウォッチングの安全を呼びかけ 🐳

11月28日、奄美クジラ・イルカ協会の総会で、奄美海上保安部の海上保安官が、奄美群島内の観光船事業者など22名に、まもなくシーズンを迎えるホエールウォッチングやイルカウォッチングで奄美の海を安全に楽しんでもらうために事故防止を呼びかけました。



🚩 海上保安官が奄美のFM ラジオ 77.7MHz に生出演

◇ 9月14日、奄美海上保安部の海上保安官がFMラジオに生出演、今年の夏のマリンレジャーの事故等の解説と、秋の強化月間に向けて、台風海難や漁船海難防止を呼びかけました。



◇ 10月5日、奄美海上保安部の海上保安官がFMラジオに生出演、海釣りシーズンを迎え「釣り中の事故防止」の呼びかけと「奄美群島復帰70周年の笠利埼灯台の一般公開」をお知らせしました。

◇ 11月2日、奄美海上保安部の海上保安官3名がFMラジオに生出演、「灯台記念日の笠利埼灯台の一般公開」「測量船光洋の一般公開」や「海の環境を守る取組み」についてお知らせしました。



◇ 12月7日、奄美海上保安部の海上保安官2名がFMラジオに生出演、年末・年始の多客期を迎えるにあたりテロや犯罪防止のための「定期フェリーや旅客船などへの年末年始の特別警戒」「海難防止の安全指導」や「漁船やプレジャーボートの事故防止」について周知しました。

10月入校の海上保安学校学生採用試験まもなく受付開始

◆ 試験日程(予定)

試験名	受付期間	第一次試験	第一次試験合格者発表	第二次試験	最終合格者発表
海上保安学校採用試験(特別)	3月初旬	5月中旬	6月初旬	6月初旬 ～ 6月下旬	7月下旬

◆ 受験資格(予定)

- (ア) 2024(令和6年)4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して13年を経過していない者及び2024(令和6年)9月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
- (イ) 高等専門学校の第3学年の課程を修了した者であって2024(令和6年)4月1日において当該課程を修了した日の翌日から起算して13年を経過していない者等 人事院が(ア)に掲げる者と同等の資格があると認める者

◆ 試験項目・試験の方法(予定)

	試験	種目			
船舶運航システム課程	第一次試験	基礎能力試験(多岐選択式)		作文試験	
	出題数(回答時間)	40題(1時間30分)		1題(50分)	
	配点比率	3/8		※	
	第二次試験	人物試験	身体検査	身体測定	体力検査
	配点比率	1/4	※	※	※

(注)「配点比率」欄に※が表示されている試験種目は可否の判定のみを行い、得点化されません。

海上保安学校



海上保安学校
ホームページ